

東京都練馬区石神井町3 25 24 MMビル2階
TEL03-5923-9411 FAX03-5923-9422
mail skimura@kimuracpa.com
http://www.kimuracpa.com/

良いことは
すべて形で現れなければ
ダメだ

事務所からのひとこと

青草を蒸すような強い日射しの中、皆様方にはお変わりございませんでしょうか。

さて、総務省の「平成26年経済センサス」(速報)によると、日本企業の決算月で最も多いのは「3月」(構成比19.7%)。次いで「9月」(同 10.6%)、「6月」(9.6%)が続きます。しかし意外に「8月」(8.6%)も多く、全体の5番目です。8月期決算は、ファーストリテイリング(ユニクロ)やビックカメラ、サイゼリアなど小売業や外食業に多くみられます。

決算月をいつにするかは特に決まりがなく、何月に設定しても自由です。しかし一般的な3月を避け、猛暑の季節になぜ決算をするのでしょうか。決算といえば「棚卸し」があります。できれば暇な時にやりたい。そして8月は「ニッパチ」と呼ばれる閑散期で、客足が鈍って売上が落ちる月。手間が掛かる棚卸しをするには都合がよいというわけです。

8月は比較的、どの企業も手隙の時間が多いもの。そこで下期(9月~)に向け、時間のかかる作業や時間をかけたい業務(社員の集中研修など)に取り組むのもよいかもしれません。暑い夏を「熱い秋」へとつなげたいものです。

COLUMN

人手不足時代の現場マネジメント ~マネージャーの意識を改革せよ~

人手不足の影響から、就業規則や職場の設備などを改善し、性別・年齢にとられない職場を目指す企業が増えている。しかし、規則や設備は改善できても、改革しにくいのがマネージャー(現場管理者)の意識である。特に、高度経済成長期やバブル期を経験した50代以上の幹部や、その部下として働いてきた40代の管理職は、今までのやり方が抜けず、多様な雇用形態の多様な人材を活用できないケースが多い。

ある企業の営業部は、長年“男性社会”であった。しかし、業界で女性営業職が好成績を挙げる例が増えたため、同社も女性営業社員を採用することにした。だが、いざ採用しても本人が現場になじめず退職するといったことを繰り返していた。

理由は採用担当者や現場マネージャーが女性と働いた経験がなく、適切なアドバイスができないまま放置してしまっていたからだ。

就業規則や社内設備が、女性や高齢者、障がい者などに配慮したもので、現場のマネージャーや役員、経営幹部の意識改革が滞っていないかご確認いただきたい。

明日への指針

人材育成という名の準備

A社は、年商20億円規模の企業である。主に産業機械の製造を手掛けている。リーマン・ショック後の需要低迷で、一時は資金繰りが厳しい時期もあったが、現在は10年先までの受注案件ストックを抱えており、業績の見通しは明るい。

この好調の背景には、外部環境の要因に加えて、技術者集団による現場対応力の高さと、さらに顧客との信頼関係がある。急速な受注の拡大を支えるのは、組織の力だ。

企業には適正規模がある。キャパシティを超える受注は消化できず、品質不良やクレーム、トラブルなど会社を破綻させるリスクになる。それは成長ではなく、「膨張」という。

A社は、過去10年間で社員育成を継続的に行っている。社内研修に限らず、外部セミナーへも積極的に社員を派遣する。さらに、幹部社員には個別指導を定期的に行っている。

初めは、社員の意識や行動に変化はなかったが、少しずつ効果が表れ始めた。最近では幹部の自発性や問題意識が高まり、社員の発言内容や行動習

慣も変わった。トップの方針や会議での決定事項をスピーディーに実行できる“打てば響く”組織体質を、10年がかりで実現しつつあるのだ。

同じような教育を実施しても、単年度で打ち切ってしまう会社もあれば、A社のように辛抱強く継続していくケースもある。長い目で見た場合、果たしてどちらが費用対効果が高いといえるのだろうか。

人はすぐには育たないし、組織もすぐには変わらない。設備投資は結果がすぐに出るが、人材投資は目に見える成果が表れるまでに時間がかかる。しかし、それは少しずつ積み上がり、だが確実に企業経営に効いてくる。

A社の社長の、「社員も成長しましたが、一番変わったのは社長である私です。これは間違いありません」という言葉が印象に残る。

A社にとってこれまでの10年間は、これからの10年間に向けての準備期間だったのかもしれない。いつ目の前に現れるか分からないチャンスをつかめるかどうか。全ては人材育成という名の準備にかかっている。



ý ~ » - q m

事業成功50点、承継成功100点 ~ 第三者を交え、スムーズな引き継ぎを~

ÑÀìz,qærwqpxîÄ~þÊ~§É
s`wÝ6pK“zR Õw7Gwj^—x
Ä¿ÓwØäiřMõQ•yz2sëi
ÚïþÕpsMqzý`M`ÀxRÕ`s
M{T`z2sëiÚïþÕpK•yz
ÀU¤ìXC2pV”TqtQyřOpX
sM¶MX’2ilhq`o< tx#
ËUK”hŠžcÄÄ•’w» Úi-U
Z•”{

ÔŠ`Àw Xx% &æpK”{tz
ÄÄ•’p7< Mwxz&æ T’fw
•wîÄi»¿½if•g•wQ”>
^”qz&æ xæ^ÿpËŠt§MUz
™’ xgQÿp “tx§M<wwzQ
“U`XoËŠx MsrzopK”\
q< M{

’Àx§^pó|oMXUzGw :
p{IX“&”{q&æ xz — ^U
Klo<Øät’loK” S†p ð`
oMçGVs ^> ðpVsZ•yř
wqpxqIXt«QoM”ŹT`z™’
U%a’Ot ðpV”TqMOqzq
px “èX ¥<’ÀFÛ<§OhŠz
É`M\qU M{

Hloz™’ w ^>ó:w p4\$
b®&æ½”ÜṽmX”žAUK”{n†
“z w 2&æ t”ëiÚi&æT
’z™’ qfwÒè”it”Éë&æ.
M•!~•sZ•yzÀw xÉ`M
qMQ”i-O{

q&æ T’™’ t•’b,V<w
xzGVX~mK”®gæz&æzi Šç Ò
ÜŹ{T`ž•’~mw•’tmMoz
q&æ q™’ U`IT“qé`ùQo
MsM-”µUGRpK”{

q&æ UÕáw t.~hHos&
æÉçËœÄ¿Óq`o7<G~s\qx
?TžÀC2wžAÚEžÑÀwj:ž
ægæw™’zqÉëžÄ~ž¼~ ¼œ
t0b”BQMž’ÉµþÄçpž`ox
s’sMÛ iÄsrŹhX^œK”wtz
O†X¾V’WUpVoMsM{fw Òù
xq&æ q™’ tzi±ç»iÄs
rwh~>CQh~ ØŠp¾V’W>
æOqzÜ”¶tMX\qU M{

&æ xÄÄ>R-^do :žÄÄ•
’†pR-^dosŠo :~:if
h\$~.%\$t “ÉœpMhiVhM{

Dw\qy

I>Ëo{“ÄwIzRÕwIzVvwI{
-ËòUrw STxIwGV^p~T”{